

令和5年度第5回十日町市地域公共交通活性化協議会議事録

日 時 令和5年11月14日(火) 午後1時30分～午後3時00分

会 場 十日町市役所 防災庁舎2階 大会議室

出席者 委員

十日町市長	関口 芳史
越後交通(株)十日町営業所 営業所長	外山 幸一
南越後観光バス(株) 乗合営業部次長	武藤 文昭
東頸バス(株) 代表取締役専務	高橋 常雄
十日町地区タクシー協会 会長	馬場 大和
東日本旅客鉄道(株) 十日町駅長	山口 勉
北越急行(株) 営業企画課長	村山 正樹
新潟県十日町地域振興局 地域整備部維持管理課長	中林 照雅
十日町警察署 交通課長	渡邊 正和
	(代理：上村 大悟)
十日町市地域自治組織連絡協議会 会長	川田 一幸
長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻 教授	佐野 可寸志
十日町市老人クラブ連合会 女性部長	南雲 カツミ
新潟県立十日町病院 事務長	貝瀬 伸一
社会福祉法人十日町市社会福祉協議会 理事	佐藤 幸子
国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官	山田 一輝
新潟県十日町地域振興局 地域振興専門員	佐藤 浩幸

事務局

総務部長	金澤 克夫
建設部長	高崎 洋一
総務部企画政策課長	田辺 貴雄
総務部企画政策課長補佐	渡辺 隆之
総務部企画政策課企画政策係長	酒井 潤
総務部企画政策課企画政策係主任	吉樂 実代志

オブザーバー

川西支所地域振興課主任	中町 広章
中里支所地域振興課主査	大見 好行
松代支所地域振興課主査	山口 耕一郎
松之山支所地域振興主査	井川 勝博
(株)ケー・シー・エス北陸支社	五十嵐 裕音

欠席者 委員

(有)東部タクシー 代表取締役社長

公募委員

公募委員

十日町商工会議所 共立観光(株)代表取締役

十日町市商工会連絡協議会 松代町商工会長

十日町市自立支援協議会 委員

新潟県立十日町高等学校PTA 会長

一般社団法人十日町市観光協会

新潟県交通運輸産業労働組合協議会

国土交通省北陸信越運輸局 交通政策部交通企画課長

村山 達三

高橋 知子

金子 宏美

原田 千佳子

瀬沼 伸彦

数藤 いずみ

宮沢 徹也

桑原 清

倉澤 明里

新倉 孝礼

議 題 協議事項(1) 十日町市地域公共交通計画（素案）について
その他

- 配布資料
- ・ 次第
 - ・ 委員名簿
 - ・ 座席表（当日配布）
 - ・ **資料1** 十日町市地域公共交通計画（素案）について
 - ・ **参考資料** 十日町市地域公共交通計画策定スケジュール

1. 開会

(事務局 田辺課長)

定刻となりましたので、これより「令和5年度第5回十日町市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。

本日の司会進行を務めます企画政策課長の田辺と申します。よろしくお願いいたします。

本日は御多用の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より当市の交通政策にご理解ご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

本日の議題であります計画の素案につきましては、当初10月の協議会でご協議をさせていただき準備を進めておりましたが、策定作業に時間を要してしまい、急遽日程を変更させていただきました。このことにつきまして皆様にお詫びを申し上げますとともに、本日お集りいただきましたことに感謝申し上げます。

それでは早速ですが、次第の「2. 挨拶」を関口十日町市長よりお願いします。

2. 挨拶

(関口市長)

大変お忙しい中、第5回となります、令和5年度十日町市地域公共交通活性化協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

委員の皆様には日頃から十日町市の公共交通、交通政策に多大なるご理解、お力添えをいただき、敬意を表する次第でございます。今ほど係からご案内があった通りであります。少し遅れてしまいました。本日、「十日町市地域公共交通計画」の素案をお示しさせていただきます。この計画は地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするマスタープランの役割を果たすものでございます。地域における移動手段の維持・確保は、交通分野の課題とその解決にとどまらず、まちづくり、また観光施策、さらには福祉、健康、環境など様々な分野に大きな変化、効果をもたらすものであります。地域社会全体の価値を高めることにつながるものと理解しております。そうしたことで、私ども行政だけではなく、本日お集りの皆様をはじめ、様々な関係者の皆様と共にこの地域公共交通をデザインしていく必要があります。今年7月に開催しました協議会におきまして、骨子案をご協議いただきましたが、本日は、計画の目標、評価指標、目標達成に向けた施策等を盛り込んだ素案をお示しいたしますので、ぜひ忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます。

今、国の動きなど注目を浴びている地域公共交通の在り方ですが、今年の10月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正法が施行されております。これにより、あらゆる交通モードにおける地域の関係者の連携協働を通じた中で、利便性、持続可能性を考慮した上で生産性が向上するように地域公共交通ネットワークを再構築、リ・デザインせよと、そのような趣旨の改正と理解しております。当地域もまさに少子化、人口減少、高齢化、過疎の先進地であるということは紛れもない事実であります。マイカー利用、またライフスタイルの変化があるわけですが、新型コロナウイルスの影響による地域公共交通を取り巻く状況は年々悪化していることは事実でありますので、大きな転換期、もしくはパ

ラダイムを変えなければいけない、そこまで追い詰められていると自覚しております。また、観光需要につきましても、芸術祭の開催等もありますので、多くの皆さんがこの地域においていただけるようなプランを練っているわけであります。二次交通が非常に重要になってくると思っております。

さらに、鉄道の面を見ますと、先ほども申しましたが、新潟県の高速度鉄道ネットワークのあり方検討委員会がございます。この検討会において、新潟市と上越市の間の高速化が検討されていますが、羽越新幹線の整備という国のこれから先の大きな課題となっていくと思っておりますが、それを見据えた中で、北越急行ほくほく線を活用してミニ新幹線化の案も出ておまして、そのような変化が期待できる場所です。

5年先のプランであります。5年先はもちろん、その先も見据えた中で委員の皆様と共に大きな意味での公共交通ネットワークの再構築が必要ですので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。そのことをお願いいたしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。それでは今日はよろしくお願い申し上げます。

出席者紹介

(事務局 田辺課長)

ありがとうございます。続きまして、欠席される方のご報告になります。あらかじめご連絡をいただいております方になりますが、お配りしております委員名簿の、No.6 有限会社東部タクシー村山様、No.12 公募委員の高橋様、No.15 十日町商工会議所原田様、No.16 十日町市商工会連絡協議会瀬沼様、No.18 十日町地域自立支援協議会数藤様、No.19 新潟県立十日町高等学校 PTA 会長宮沢様、No.22 一般社団法人十日町市観光協会副会長桑原様、No.23 新潟県交通運輸産業労働組合協議会倉澤様、No.24 国土交通省北陸信越運輸局新倉様、の皆様が欠席となっております。また、No.10 十日町警察署交通課長の渡邊様に代わりまして、交通捜査係長上村様から代理出席をいただいております。

なお、当協議会の規約第8条第2項によりまして、委員の過半数が出席しておりますので、会議は成立していることを報告いたします。

それでは次第の「3 協議事項」と次第の「4 その他」については十日町市地域公共交通活性化協議会規約第8条第1項に基づき、会長である関口十日町市長より議事進行をお願いいたします。

3. 協議事項

(1) 十日町市地域公共交通計画（素案）について 資料1、参考資料

(議長 関口市長)

それではお手元の次第に沿って進めたいと思います。

「3. 協議事項」です。(1)十日町市地域公共交通計画（素案）について事務局より説明をお願いします。

(事務局 酒井係長)

—資料1、参考資料に基づき説明—

今回の資料につきましては事前に送付をさせていただき、ご意見ご質問等があれば事前にお願ひさせていただきました。お二人の委員からご意見をいただきました。お一人目、本日ご欠席ですが、国土交通省北陸信越運輸局新倉委員よりご意見をいただいております。内容につきましては、国からの技術的な助言で、文言などの修正、45ページの計画目標において、費用に係る国または市の支出額の記載をしていただきたい、との内容です。これらについては計画素案を修正させていただきたいと考えております。また、十日町地域自治組織連絡協議会会長川田委員よりご意見をいただいております。内容につきましては、45ページ、計画目標及び評価指標におきまして、②の2行目から、「新たな公共交通サービスの導入など、公共交通ネットワークの構築を図ります。」とありますが、具体的に「ライドシェアの検討も視野に」という文言はいかがでしょうか。とご意見をいただきました。これにつきまして、国でも検討されておりますが、タクシー協会や学識経験者の佐野先生からご意見なども頂戴できればと考えております。私からの説明は以上になります。

(議長 関口市長)

ありがとうございました。長い説明になりましたが、今ほどの説明の内容につきまして、ご意見ご質問がありましたら、ご発言をいただきたいと思います。また、今ほどの川田委員の意見につきまして、佐野先生からご助言等あればお願いしたいと思ひます。他の皆さんからもいただければと思ひます。川田委員から補足はありますか。

(川田委員)

目標値を設定していますが、現状値よりも良い結果が出るのかというところ、今までの説明を聞いても資料を読んでも現状がこれから改善するのは難しいと思ひます。新たな課題が載っているように、もっと具体的に必要か必要でないのかを協議する必要があると思ひます。今はまだ議論の最中ですが、この地域にとって、十日町市にとって一番良い環境を作っていくには何が一番最適なのか、あらゆるところから協議をして、この十日町市に合ったものにするには「こういったこと」ということを見据えながらこの地域の良さをどう変えていくのかの議論が必要と思ひます。このままの状態では現状値からは脱却できないのではないかと感じたものですから、できることがあればもっと前向きに、この地域の交通機関をどう地域に合ったものにしていくのか議論する必要があると思ひ、載せてはどうですか、という提案をさせていただきました。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。佐野先生いかがでしょうか。

(佐野副会長)

おっしゃる通りだと思います。どこまで今の段階で書けるのかという話だと思います。私もこのようなことに携わっているので、目標値は出ますが、右肩下がりの中で現状維持さえも努力しなければならない中で、細部の計画まで立てて、その需要予測をして、目標値がこのくらいというのはかなり難易度が高いし、推定精度もそれほど高くはないので、積み重ねてしっかりとやるというのが本筋だと思います。一般論で言うところのこのような感じですが、目標設定は運輸局である国のご指導の面があって、少し形骸化している一面はあるとは思いますが、どの段階で細かい施策を入れるのかというのは色々な議論があるところであり、ここでは大まかな方向性を示して、最後はそれぞれやっていただくことで良いと思います。ただ、おっしゃるようにそこを詰めないのに目標値が出るのかということは、少し制度的な矛盾のような気がします。

(議長 関口市長)

馬場さんいかがでしょうか。

(馬場委員)

タクシー事業そもそものところですが、我々がこの公共交通会議に呼んでいただけているのは、デマンドタクシーやスクールバスの運行をしていることからと思います。タクシー事業本体では公共交通の中にきっちりと入っているのかいないのか、準公共交通など色々な呼ばれ方をしていると思います。また、ライドシェアの制度化がはっきりとどうなるかわからない中で、ライドシェアが公共交通なのか、という側面を見ますと、この枠組みの中に入れることは、今はまだ難しいと個人的に思っております。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。それではこの件も含めまして、またそれぞれご意見がございましたらと思いますが、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

(佐野副会長)

40 ページの「課題4 公共交通利用者増加につながる利用促進」と書かれていますが、ここで言いたいのは公共交通を使うことで維持していくという精神論、そういったところをタイトルにしたほうが良いと思います。内容はこのままで良いと思います。供給面でどうするかを「1」「2」「3」で書かれていて、「4」では使う人の促進ということだと思います。

45 ページ、これに関して、「計画目標④」で「公共交通の利用促進及び利便性向上」となっていますが、やはり、主になるのは利便性の向上、サービスレベルが先で、プラスアルファで精神的なものを追加するというように、順番を変えた方が良いと思います。これはあくまで利便性の向上プラスアルファと思います。また、取組実施数が指標にありますが、目標数を減らしても良いので、取組実施数ではなく、施策を評価して、丸、二重丸、バツ、三角くらいで良いと思いますが、その丸が付いた数など、有効に成功した事例数が良いと

思います。さらに、「計画目標②」、公共交通に関する満足度はちょっとボヤッとしているので、満足度であれば普段使っている人と観光で来た人を分けた算出をするなど、外部からの観光の人をイメージ的に取り扱った方が良いと思います。十日町市にはたくさん観光客が来るようですので。

(議長 関口市長)

ありがとうございました。事務局は特によろしいでしょうか。ライドシェアの件に関して川田委員はこの計画②の中に文言を入れるというご指摘でしょうか。

(川田委員)

私はどうしてもこの中に入れてくださいということではなく、ライドシェアという言葉はあまり聞かないと思いますので、こういったことが今議論されつつあることをもっと皆さんに理解していただく必要があると思います。公共でやるのか民間でやるのか、やり方も様々です。利便性を考えると、地域にどう提供していくのか、利用する側、双方が良しということにならないとうまくいきませんので、もっと皆がこのことについて考えを出していくことが、私は必要なことだと思っています。できることならどこかに入れておくことのほうが私は必要と思いました。

(議長 関口市長)

事務局からいかがでしょうか。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございました。利用者目線と事業者目線があります。先ほど国の研究段階ということもありましたが、人材不足の課題は、皆さん承知されていると思います。例えば研究する内容として、対象を高齢者や時間帯を絞るなど、この時間帯はタクシーの運転手が少ないからその時間帯に組み込むなど、やり方は工夫が必要だと思います。誰でも利用できることにするのは難しいところがありますので、そういったところは研究が必要だと思います。そのようなこともありますので、タクシー協会さんも含めて、引き続き、協議が必要だと思います。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。馬場さんよろしいでしょうか。

それでは素案はこのままで、パブリックコメントなどご意見をいただいた中で、場合によっては修正をしていくという整理でよろしいでしょうか。

(事務局 田辺課長)

2月に最終案をお示しする中で報告したいと思っております。

(議長 関口市長)

その取扱いでよろしいでしょうか。

それではそのようにさせていただきます。他にいかがでしょうか。

(貝瀬委員)

非常によくまとめられたと思います。お疲れ様でございました。細かいことですが、何点か追加質問をさせていただきます。まずは先ほどから指標の話が出ておりますので、指標の関係で、「計画目標①」の「公共交通の利用回数」や、「公共交通に関する満足度」の目標を管理していくためには、毎回アンケートを実施しないといけないのか、それとも既存のものを使うことができるのかなど、進行管理の面でどうなのかお聞かせいただきたい。また、「計画目標①」の「市民生活に即した公共交通ネットワークの維持」の指標が、「市民1人当たりの地域公共交通の利用回数」ですが、これは「計画目標④公共交通の利用促進および利便性向上」であればこの指標が良いと思いますが、「計画目標①」では他にも指標があっても良いと感じました。

また、事業の詳細のところですが、50ページ「1-2 学生や高齢者の運賃割引等の実施」では、高齢者を対象にするのは理解できますが、学生も対象にしていることについて、アンケートも確認したのですが、市民を対象としたアンケートは18歳以上ですので、これで学生を対象にするのはどのようなことを想定しているのか教えてください。

併せまして、54ページ、「市内施設と連携した企画乗車券の発券」で、商工団体の会員は分かりますが、医療機関と調整を行い企画乗車券との提案がございました。病院に来られる方、公共交通機関しか使えない方もいらっしゃいますので素晴らしいことと思っておりますが、具体的にどのようなことか教えてください。

(議長 関口市長)

事務局からお願いします。

(事務局 酒井係長)

計画目標①の「利用回数」につきましては、市で運行している市営バスや予約型乗合タクシーは利用人数がわかりますし、路線バスにつきましても事業者さんから毎年報告をいただいておりますので、毎年数字は把握をしているものです。

目標②につきましては、説明の中でも申し上げましたが、満足度に関しては市で2年に一度、市民アンケートを実施しておりますので、次々回の市民アンケートが令和9年に実施予定でありますので、この数値について、25%を超えたいという目標であります。

計画目標①について、これだけではなくもう一つ違うものがあるのもよいのではというご意見がございましたが、それについては検討していきたいと思いますが、何かこういった指標が良いのではないかとのご提案があればぜひお聞かせをいただければと思います。

高校生の運賃割引ですが、34ページ目「今後の公共交通に対する要望」の中で、「交通弱者を対象とした運賃補助の要望」が5割を占めているため、交通弱者は高齢者と自分で移動ができない高校生を含みますので、事業案として高校生を含めております。

54 ページの「市内施設と連携した企画乗車券の発券」においては、こういったものが良いのかは商工団体の皆様や医療機関の皆様と検討してまいりたいと思っております。例えば商工団体のお店を利用したらポイントをもらえて、そのポイントが貯まると、市営バスの回数券を差し上げるようなことをイメージしております。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。他にご意見ございませんか。

(南雲委員)

説明を聞きまして、交通網については理解できました。そこで、45 ページの計画目標の現況値と目標値を考えると、難しいだろうと私は思いました。交通網に関しては色々な知恵を出して今まで作り上げてきましたが、交通弱者にとってみれば、今後、例えば私なら車の運転をやめるだろうと思います。そうなったらどうやって十日町に出ていくだろうか、公共交通を使うだろうかということを考えてみました。使えるようであれば使いたいわけです。誰にもお世話にならないで出てきたいわけです。しかし、今の交通機関の状態は、段差が大きく、乗り心地と言ったらいいのか、乗るために体力がなければなかなか利用できないような感じがします。交通網に関する話かもしれないですが、交通機関本体、乗るそのものを弱者にとって都合の良いものを用意していく必要があると思います。そういうことも考えていけば、私は自分が車の運転ができなくなったら公共交通を使っていきたいと思、満足度 25%になれば良いと思いました。

(議長 関口市長)

ありがとうございました。これは事業者の皆さんにも関係するところかと思ます。もしご意見等何かあればいかがですか。

(武藤委員)

我々は、十日町市内を走るバスは、100%ワンステップバス、ノンステップバスにしております。ただし、来年の春から運行を予定させていただいている、前回書面協議でお諮りいただいたハイエースですが、こちらはバリアフリー非対応の車となっております。それ以外の路線バスに関しましては先ほど申し上げましたようにワンステップバス、ノンステップバスで運行をさせていただいておりますので、情報を共有させてもらえればと思ます。

(議長 関口市長)

他によろしいでしょうか。事務局から何かありますか。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございます。ご自宅からバス停まで行くのが少し遠いという視点もあると思ます。そうしたときに、どこまでが公共交通で、どこまでが福祉タクシーで、という線

引きもあると思うのですが、高齢者からもご利用いただけることが大事だと思いますので、先進的な取組の自治体を参考にし、計画の中に反映されるよう取り組みを進めていきたいと思っております。

(議長 関口市長)

他にいかがでしょうか。

(武藤委員)

34 ページ、40 ページの「公共交通事業者の現状」ですが、「公共主要拠点（駅等）から観光地へのアクセス」、54 ページに「観光施設への二次交通」という内容が書いてありますが、7月20日、前回の当協議会の際に弊社の社長塩入よりご報告させていただいた、越後湯沢から中里を経由して、森宮野原駅までの弊社路線の収支に影響する他社の貸し切りツアーバス及び路線バスの季節臨時運行的な類似行為の事案について、お話をさせていただいたと思います。越後湯沢から森宮野原線は現在1日4往復、8便を、新潟県及び沿線5つの自治体様より補助をいただいて運行をしております。しかしながら近年、補助金だけでは賄えず、欠損が生じております。前回の協議会で弊社社長より対策及びそのような運行形態をされる場合は沿線自治体との協議及び協議会事案ではないのでしょうかといった内容を当会議でお伝えさせていただいたとのことです。前回の会議で横の連携を図っていくと事務局から説明があったとのことですが、その後情報は共有されていらっしゃいますでしょうか。また、運行内容等、事前に沿線自治体と協議調整を済ませてからの運行で今後はお願いしたいと思いますが、この計画の中に含まれるのか照らし合わせてみないと微妙なところではありますが、その後どのような状況かお聞かせいただけますでしょうか。

(議長 関口市長)

事務局からどうぞ。

(事務局 田辺課長)

前回塩入社長がこちらに来られたお話かと思えます。それについては、この計画とは別のお話だと思います。前回津南町役場で沿線自治体と打ち合わせをしたことの話は別で進むものと認識しております。この計画の中では載せづらいと思っております。なお、連携は引き続き行っていかなければならないと認識しております。

(武藤委員)

新たにまた動きがあるという情報はご存じですよ。

(事務局 酒井係長)

越後交通に観光協会から貸し切りの依頼があったという話は聞いております。そのようなことから、観光協会にはこういった事案もありますので、運行している南越後観光バスによく協議をしてくださいと話してあります。

(武藤委員)

沿線に5自治体がありますので、うまく調整等図っていただければと思います。

(議長 関口市長)

よろしいでしょうか。

(山田委員)

54 ページ、施策の3、「3-1 観光施設への二次交通の確保」について確認ですが、内容を読ませていただくと、35 ページの関連計画の中に「第2期十日町市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中にも、「大地の芸術祭の来訪者に対する二次交通の確保により誘客を推進する」、また、課題の3「まちづくりと連動した公共交通の実現」にも大地の芸術祭に触れて、ここでも二次交通について課題として挙げられています。先ほどの施策の3-1の取組内容では、大地の芸術祭に来られるお客様、来訪者に対する二次交通も含まれているとの認識でよろしいでしょうか。

(事務局 酒井係長)

その通りでございます。

(山田委員)

ありがとうございます。もう一点、同じく3-1「実施主体」に交通事業者と十日町市となっていますが、観光であれば情報提供なり、来訪者の生の声ということであれば観光協会にもお声がけいただくこともいいのではないかなと思います。

(事務局 酒井係長)

おっしゃる通りですので、実施主体の欄に追加させていただきます。ありがとうございます。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。他にご意見いかがでしょうか。

(外山委員)

越後交通の外山と申します。今回の地域公共交通計画の素案とは少し関わりのないことと思いますが、前回10月20日付けで企画政策課様から頂いた書面協議の件についてご質問をさせていただきます。今お手元に資料はないと思いますが、書面協議の際に当社の路線バス、南越後観光バスの運行終了に伴う市営バスの運行についての書面協議をいただきまして、私どもも南越後観光バスからは「意義あり」を出させていただいたのですが、多数決により案の通り決定に向かうところでございますが、先ほどの素案の17ページ、収支率の上から2つ目「十日町＝小千谷＝長岡線」と「十日町＝川西＝小千谷線」が載ってお

ります。市営バスが「十日町＝川西＝小千谷線」の路線と類似したところを通っており、市営バスが運行されますと、私どもの路線バスの運賃より少し安くなっており、この収支率が落ちてくる可能性が高くなると考えております。市から補助をいただいて運行をさせていただいているのですが、それでもかなり欠損が出ておりますので、今後、利用者が減りますとさらに数字が悪くなる恐れが多分にあると思います。この点につきましてどのようにお考えかお聞きしたいと思っております。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございます。今ほどお話があった十日町＝長岡線や、十日町＝小千谷線の数値は現状のもので、計画策定後、いかにして利用者を増やすかが大きなポイントと思っていますが、市民からは市街地巡回バスを求められていることもあります。そうした時に、現在の長岡線、小千谷線のルートはこのままで良いのかという議論もあります。既存をベースに考えると、色々な課題が出てきますが、そういったことを含めてトータルで考え、少しずつ変えていかなければ計画を作っただけで終わってしまいますので、そこはバス事業者さんと協議させてもらいながら、良い方向に進めるように取り組んでまいりたいと思っておりますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

なお、市営バス吉田線について、吉田地区から市街地に来た時に市街地でも乗ることができる、長岡線、小千谷線の乗車が減るというご指摘と思いますが、どこまで影響が出るのかは分からない部分もありますので、数字を見ながらご相談させてもらいたいと考えております。

(議長 関口市長)

よろしいでしょうか。

(外山委員)

ありがとうございました。会社でも、現状の十日町＝川西＝小千谷線、並びに上沢線の乗降調査をさせていただいております。その乗降調査の結果も踏まえて、長岡の本社と相談をし、市とも相談や検討をさせていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(議長 関口市長)

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それではご意見を頂戴いたしました。いただいたご意見はまたしっかりと検討させていただいて、2月の会議で同意をいただける案で、進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それではご意見も出尽くしたようですので、議決に移ります。

協議事項(1)十日町市地域公共交通計画(素案)につきまして、賛成の方は挙手をお願いいたします。

—挙手—

皆様から挙手をいただきました。ありがとうございました。それではこの素案につきましては、賛成多数で、皆様からの賛成をいただきましたので、この素案を基に計画策定を進めていくこととさせていただきます。ありがとうございました。

4. その他

(議長 関口市長)

それでは次第の「4. その他」でございます。本日の協議事項はすでに終了しておりますが、改めて委員の皆様からご意見ご質問等ございましたらせっかくの機会ですのでよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。ご質問等ないようですので、議事は以上で終了させていただきますと思います。ご質問やご意見、お気づきの点がございましたら、後日でも結構ですので、事務局までお気軽にご連絡をいただければと思います。本日は誠にありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

(事務局 田辺課長)

皆様、長時間に渡りまして大変ありがとうございました。最後に事務局を代表いたしまして総務部長の金澤より閉会のご挨拶を申し上げます。

(事務局 金澤部長)

少し時間を超過する中で本日は様々なお立場の方々から、本音、率直な意見を沢山いただきまして本当にありがとうございました。十日町市としましては、人口減少という大きな課題に取り組む中、このような関係者の皆様が共有する公共交通計画を策定して、実行していくということが、実効性が高く、また効果的な成果につながるものと確信しております。次回、年明け2月にはこの計画の承認を諮る場面となりますので、ぜひ皆様最後まで熱意をもってよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして本日の会議を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会 午後3時00分